

# 1. 調査の全体像

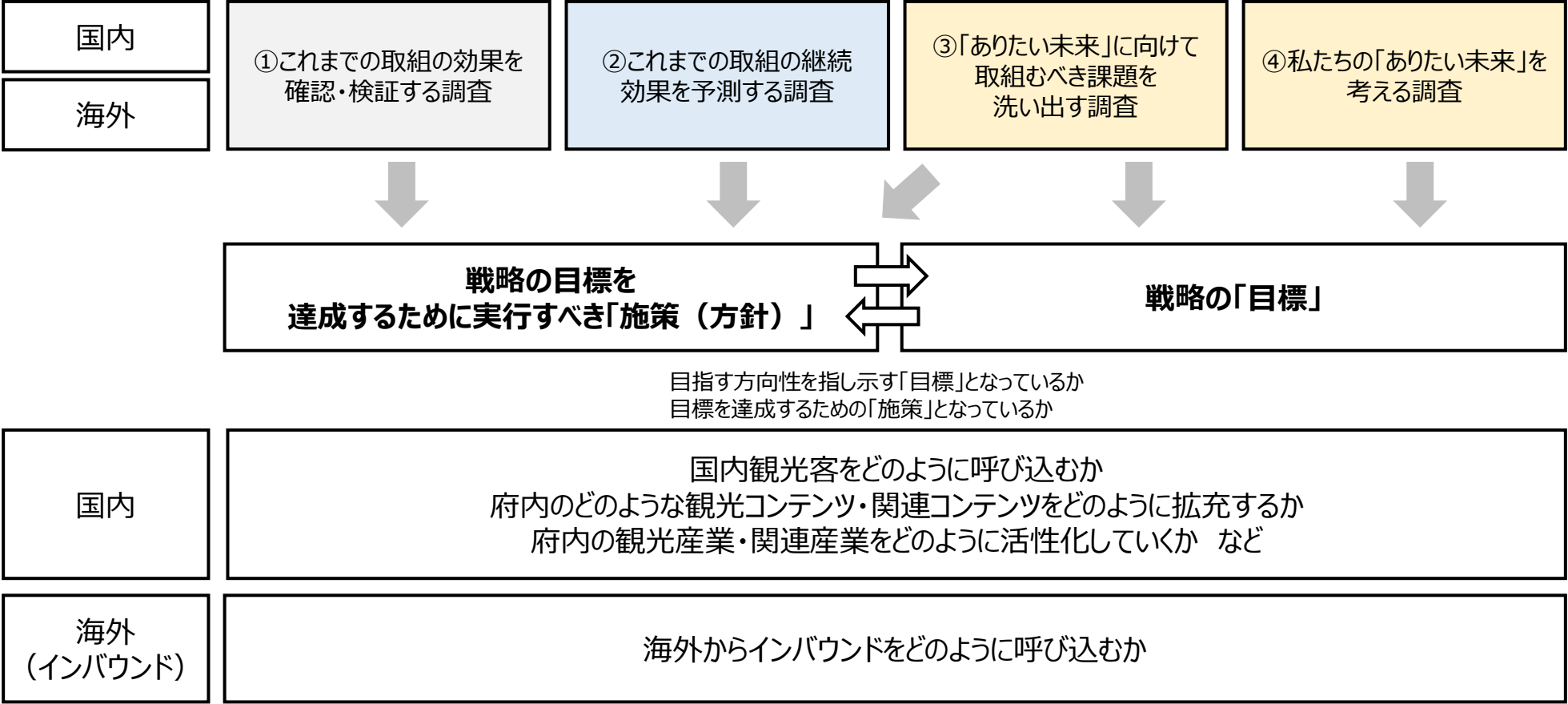
## 1－1. 調査の目的

---

大阪府では、世界的な創造都市の実現に向け、府市共通の戦略として「大阪都市魅力創造戦略」を策定し、世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力の創造・発信などに取り組んでいる。現行戦略である「大阪都市魅力創造戦略 2025」は、計画期間が令和 7 年度末で改定時期を迎えることから、令和 6 年度から令和 7 年度にかけては、次期戦略（計画期間：令和 8 年度から令和 12 年度）の策定に関する議論が本格化するところである。次期戦略は、新型コロナウイルス感染症をはじめとした社会情勢等の環境変化や新たなニーズに対応し、大阪・関西万博の開催効果を活かした新たな大阪の都市魅力の方向性を示す必要がある。そのため、本調査では今後策定する観光・都市魅力に係る戦略の基本方針の策定や課題設定、観光振興施策の企画立案に必要となるデータの収集を目的とした、多角的な調査を実施する。あわせて、各種データや調査結果の分析、事例研究等を通じ、具体的な根拠を伴う形で課題検証を行うとともに、今後の観光施策や都市魅力創造戦略の方向性・成果指標について整理・検討を行い、新戦略策定に向けた支援を行っていく。

# 1 - 1. 調査の目的

・ 前項の調査目的を踏まえ、国内と海外（インバウンド視点・海外産業視点）双方の視点で調査の設計をおこなう。



## 1 - 2 全調査の概要

- ▶ 複数の調査を組み合わせることで、**今後の戦略策定に必要な、大阪の「現在・将来」×「国内・海外」**を網羅的に把握。
- ▶ 国・関係機関の調査レポートや当企業体保有のオリジナルマーケティングデータなど、**既存の調査データを効率的・効果的に活用する**。さらに**独自の有識者・業界ネットワークを活用**して「観光業界の変化潮流」などを捉えていく。

